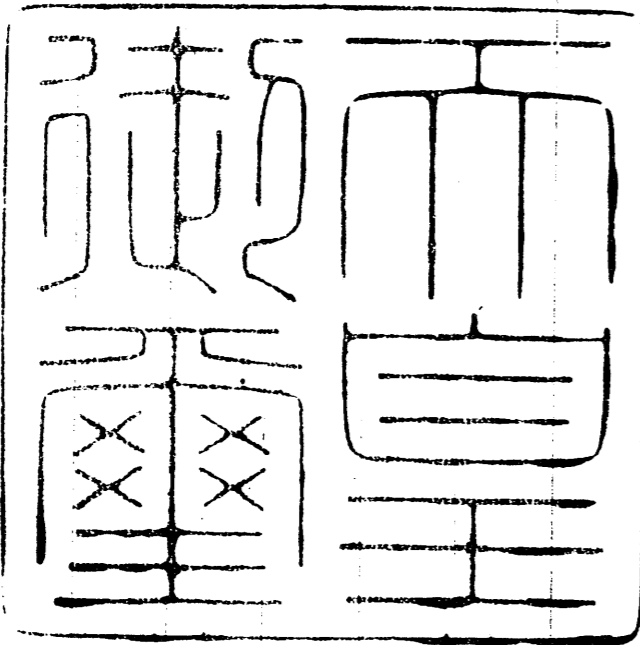


勅令第二百二十五號

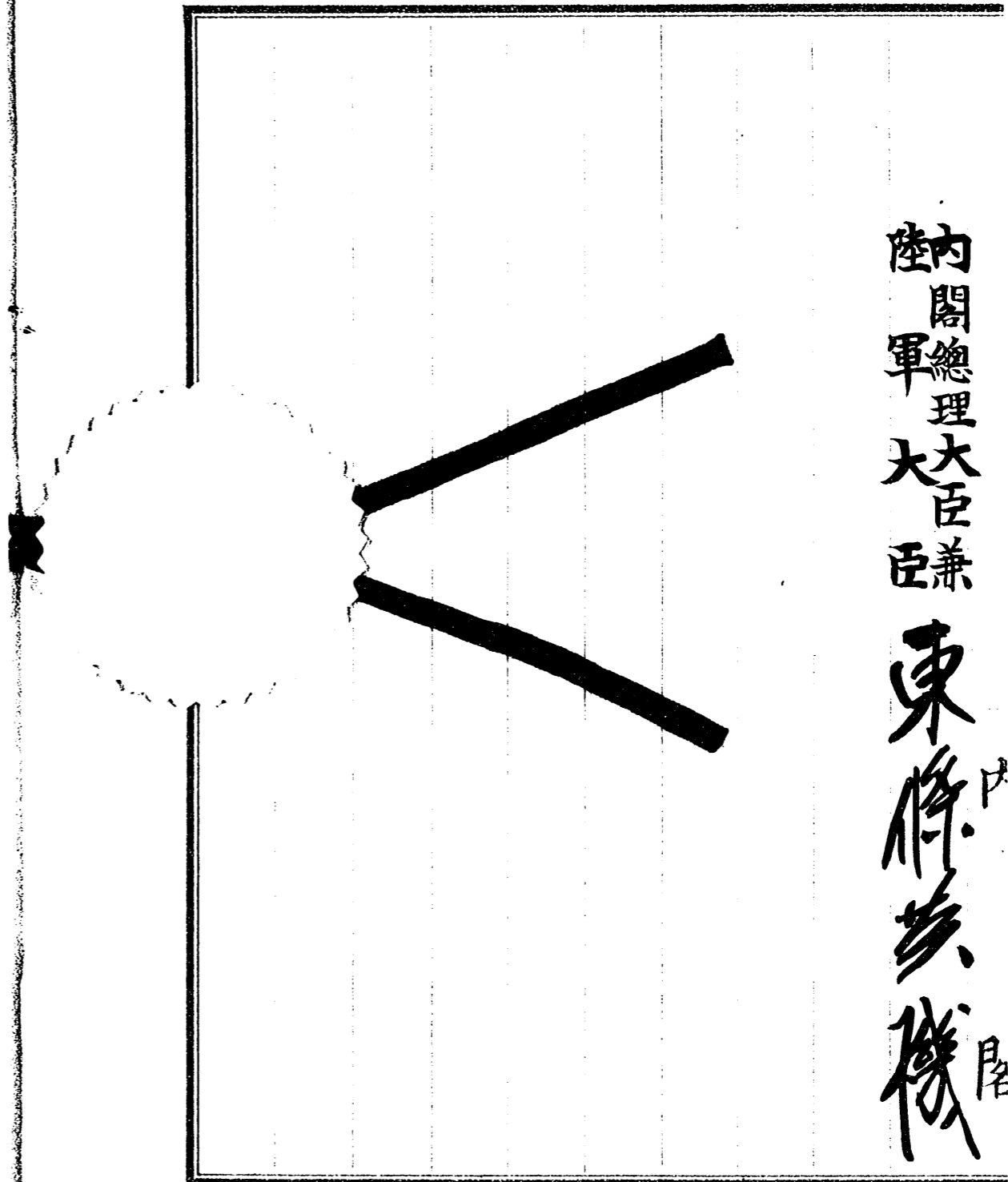
朕陸軍少年飛行兵學校令ヲ裁可
シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十八年三月二十七日

陸内閣總理大臣兼
陸軍大臣 東條英機



勅令第二百二十五號

陸軍少年飛行兵學校令

第一條 陸軍少年飛行兵學校ハ予部宮陸軍飛行學校、熊谷陸軍飛行學校、陸軍航空通信學校、所澤陸軍航空整備學校又ハ岐阜陸軍航空整備學校ノ生徒ニ必要ナル教育ヲ受ケシム非常母中二回入校セシ

第二條 陸軍少年飛行兵學校ハ其ノ所在地名ヲ冠稱ス

第三條 生徒ハ少年飛行兵タルコトヲ志願シ名譽試験ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ允テ予部宮陸軍飛行學校、熊谷陸軍飛行學校、陸軍航空通信學校、所澤陸軍航空整備學校又ハ岐阜陸軍航空整備學校ノ生徒ニ必要ナル教育ヲ受ケシム非常母中二回入校セシ

附
略

ノ其ノ修学期間ハ概ホ一平トス

第四條 生徒ノ休用ニ關スル事項及入校期日ニ付テハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五條 生徒ノ教育綱領ハ陸軍航空總監之ヲ定ム

第六條 生徒ノ教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱

領ニ基キ陸軍航空總監ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第七條 生徒ノ教育ヲ行フ為陸軍少中飛行兵學校ニ教育隊ヲ置ク

第八條 陸軍少中飛行兵學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

副官

學校附

教育隊長

教育隊中隊長

教育隊附

准士官、下士官及判任文官

第九條 校長ハ陸軍航空總監ニ隸シ校務ヲ總理ス

第十條 副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條 學校附ハ校長ノ命ヲ承ケ各職任ノ業務ヲ掌ル

第十二條 教育隊長ハ教育隊ヲ統べ校長ノ命ヲ承ケ教育ヲ總理ス

第十三條 教育隊中隊長ハ教育隊長ノ命ヲ承ケ教育ヲ擔任ス

第十四條 教育隊附ハ上目ノ命ヲ承ケ各職任ノ業務ヲ掌ル

第十五條 准士官、下士官及判任文官ハ上目ノ命ヲ承ケ教育ヲ補

助シ又ハ伎術若ハ事務ニ従事ス

第十六條 生徒ハ校内ニ居住セシメ其ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第十七條 生徒ハ總テ校長ノ官理ニ屬ス

第十八條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ズ

第十九條 生徒左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

二 品行不正ニシテ改悛ノ日途ナキ者

三 學業ノ成績不良ニシテ卒業ノ日途ナキ者

四 傷痍疾病ニ因リ修業ニ堪ヘサル者

五 前各號ノ外少年飛行兵タルニ適セズト認めル者

第二十條 生徒中傷痍疾病ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尚望アリト認めルモノハ之ヲ次期ノ生徒ト爲スコトヲ得

第二十一條 前二條ノ規定ニ該當スル者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍航空總監ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處理ス

第二十二條 校長ハ生徒卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付カス

第二十三條 陸軍航空總監ハ校長ヲシテ卒業者ニ對シ宇都宮陸軍飛行學校、服谷陸軍飛行學校、陸軍航空通信學校、所澤陸軍航空整備學校又ハ岐阜陸軍航空整備學校ニ入校ヲ命ゼシム但シ卒

業者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ此等ノ學校ノ生徒ト爲スコトヲ得ザル者ニ付アハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 校長ハ生徒ニ毎年三週間以内ノ休暇ヲ與フルコトヲ得

第二十五條 校長ハ卒業者ニ對シ卒業ノ日ヨリ第二十三條ニ掲グル學校ニ入校スベキ日ニ至ル迄休暇ヲ與フルコトヲ得但シ此ノ期間ニ於ケル卒業者ノ身分ハ陸軍少年飛行兵學校ニ屬ス

第二十六條 校長ハ校務上便宜ノ時期ニ於テ武官タル職員ニ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條 校長ハ生徒ノ教育上必要アルトキハ教育總監、軍司令官、航空軍司令官、師團長又ハ飛行師團長ニ稟議シ其ノ學校

又ハ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附 則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

東京陸軍航空學校令ハ之ヲ廢止ス

本令中所澤陸軍航空整備學校トアルハ昭和十八年七月三十一日迄ハ陸軍航空整備學校トス

本令施行ノ際現ニ東京陸軍航空學校ノ生徒タル者ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ東京又ハ天津ノ陸軍少年飛行兵學校ノ生徒ト爲ルモノトス